

## 農学(一般)



農林水産部 園芸振興課  
果樹・花き班  
技師 羽澤 美希

### 経歴 採用6年目

- H28年 農林水産部 園芸振興課  
果樹・花き班
- H26年 秋田地域振興局 農林部  
農業振興普及課  
企画・振興班
- H25年 秋田地域振興局 農林部  
農業振興普及課  
産地・普及班

### ある日のスケジュール

- 8:10 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 10:00 関係機関への依頼文書作成
- 12:00 昼食
- 13:30 果樹経営支援対策事業に  
関する会議
- 15:30 会議終了
- 16:00 帰庁、会議内容の復命
- 17:15 退庁
- 18:00 帰宅、夕食の準備
- 18:30 家族で夕食

### わたしの職場はこんなところです

園芸振興課は、「調整・普及班」、「野菜・畑作・特用林産班」、「果樹・花き班」の3班体制で、園芸品目全般の生産振興に関する仕事をしています。各班4～5名で構成されており、互いに情報交換しながら協力して業務を進めています。

### わたしは今、こんな仕事をしています

「果樹・花き班」では、その名のとおり果樹・花きの生産振興に関する業務を担っており、私は果樹を担当しています。

秋田県にはあまり果樹のイメージがないかもしれませんが、りんごを中心になしやぶどう、もも、おうとうなどを作っており、これらの生産振興のため、老若男女問わず果樹生産に取り組めるような省力的な生産システムの導入実証、県オリジナル品種を中心とした生産振興やPR活動などを行っています。

また、各地域振興局の普及指導員と連携し、県内果樹の生育状況の把握や気象災害時の対応なども行っています。

### 秋田県のここが好き！

静かで過ごしやすいところが好きです。また、食べ物がおいしいことも魅力です。毎年春に山菜を食べることを楽しみにしています。

### 農学(一般)職のやりがいはここ！

主に予算や県の政策を作る「行政職」、県の政策や技術を生産者に普及する「普及職」、「研究職」の3つの配属先があり、どの部署にも異動できる可能性がありますので、自分にあった分野が見つかると思います。また、生産者との距離が近い職種なので、生の声を業務に反映することができますし、改善の結果がダイレクトに見えるため、達成感があります。

### オフは何をしていますか？

休日や夏季休暇の際には、家族で県内外の温泉に行き、リフレッシュしています。行ったことなかった場所、見たことなかったものが思っていたよりもたくさんあり、おもしろいです。

### 秋田県庁を就職先に選んだ決め手は？

大学は県外でしたが、いずれは生まれ育った秋田に戻り、何か秋田県の役に立てるような仕事をしたいと思っていましたので、秋田県庁に就職することを選びました。

### どんな人と一緒に働きたいですか？

年齢に関係なく、尊敬できる人と一緒に働きたいです。自分はまだまだですが、今後何か1つでも尊敬してもらえる部分をもった人間になれるよう、周囲の先輩・同僚を見習って努力していきたいです。すべての仕事を1人で進めることはできないので、お互いを思いやれる仕事仲間でありたいです。

### 秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田県で働きたいと思っている方はぜひ受験してみてください。私も良き先輩職員となれるよう努力しますので、一緒に楽しく仕事をしていきましょう！

# 農学(一般)



雄勝地域振興局 農林部  
農業振興普及課 産地・普及班  
技師 猿田 文平

## 経歴 採用3年目

H28年 入庁  
雄勝地域振興局 農林部  
農業振興普及課  
産地・普及班

## ある日のスケジュール

8:15 出勤  
8:30 朝礼、メールチェック  
9:00 指導準備、  
関係機関と打ち合わせ  
10:00 講習会  
12:00 昼食  
13:00 現地調査  
15:00 業務報告・調査結果とりまとめ  
16:00 補助事業等の事務処理  
17:15 退庁  
18:30 夕食  
20:00 入浴  
23:00 就寝

## わたしの職場はこんなところです

農業振興普及課は、生産者に対して各種補助事業の活用支援や農業振興地域制度や農地転用などの農地行政を担当する「企画・振興班」、生産技術や経営管理技術の普及指導を担当する「産地・普及班」、担い手の確保や地域の生産者グループの活動支援などを担当する「担い手・経営班」の3班体制で、各班4~5名で構成されています。職場の雰囲気は明るく、上司や先輩から適切な助言や指導をいただけるため、若手も安心して仕事に取り組める職場です。

## わたしは今、こんな仕事をしています

「産地・普及班」に所属し、主に野菜栽培に関する普及指導を担当しています。生産者のほ場を訪問し、生育状況の確認や農作物に被害を与える病気や害虫の調査をしています。また、生育のポイントとなる時期には関係機関と連携しながら栽培管理の講習会等を行っています。生産者と接する機会が多く、栽培や経営相談を通して、自分自身も勉強しながら業務に取り組んでいます。

## 秋田県のここが好き！

秋田県には地域に根ざした農産物がたくさんあり、魅力的な食に触れる機会が多いです。管内には「三関せり」、「ひばり野オクラ」をはじめ、他では味わうことができない多くの特色ある農産物があります。旬の農産物を通して地域の歴史や食文化を感じることができるのが秋田県の魅力だと思います。

## 農学(一般)職のやりがいはこちら！

「行政」、「普及」、「試験研究」などの分野があり、関係機関が一体となって秋田県の農業を支えています。業務内容が多岐にわたり、様々な部署で経験を積むことができるため、常に向上心を持って仕事ができる職種だと思います。

私の担当する「普及」は生産者の所得に直結するため責任が大きいです。現場の声や成果を肌で感じることができる やりがいのある仕事だと感じています。

## オフは何をしていますか？

休日は県内外のご当地グルメを堪能したり、同期や同僚と飲みに行っています。また、体を動かすことが好きなので、夏はランニング、冬はスキーを楽しんでいます。運動後は温泉に入りリフレッシュしています。

## 採用試験の準備は、どのようにしましたか？

筆記試験は、大学の講義の復習や国家公務員試験の過去問で専門科目を中心に勉強しました。また、所属していた研究室は、卒業後に県職員として活躍している先輩が多く、現職の先輩から業務内容を伺い、面接試験のアドバイスをもらいました。

## 秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田県で働きたいという明確な意思と、入庁してから何をやりたいのか具体的なイメージを持つことが大切だと思います。農業は秋田県の基幹産業であり、大きな可能性を秘めている分野です。秋田県の農業をもっと発展させるために、一緒に働けることを楽しみにしています。